

平成28年度 入退院支援連携デザイン事業

実務者（多職種）研修会（南部圏域）

日時：平成29年3月18日（土）10:30～16:30
場所：沖縄県総合福祉センターゆいホール
参加者：159名
主催：沖縄県・一般社団法人医療ソーシャルワーカー協会
対象：多職種（市町村職員、保健所職員、医師会職員、全医療機関の退院支援部門責任者・医療ソーシャルワーカー・退院調整看護師、介護支援専門員、訪問診療医・訪問看護師、リハビリ職等）

プログラム 講演① 「患者のくどう生きるか」を支える支援について」
講師 富樫 八郎 氏（沖縄大学 教授）

講演② 「在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について」
講師 沖縄県高齢者福祉介護課 座嘉比 照子 氏

講演③ 「入退院支援連携デザイン事業について」
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 樋口 美智子 氏

質疑応答

シンポジウム 「地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題
～多職種間の相互理解を深め、相談し合える関係づくりをめざして～」
座長 富樫 八郎 氏（沖縄大学 教授）

シンポジスト 未吉 淳志氏（那覇借生園ケアプランセンター ケアマネージャー）
金城 真理枝 氏（那覇市チャージンじゅう課 保健師）
未吉 珠代 氏（大浜第一病院訪問リハビリセンターあめくの杜 作業療法士）
仲地 貴弘 氏（豊見城中央病院 医療ソーシャルワーカー）
林 和子 氏（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 看護師）
金城 比登美 氏（友愛会 訪問看護ステーション 訪問看護師）

ケアカフェ わたしの採点票～地域包括ケアシステムにおける“わたし”の役割を考える～
チーフマスター 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 島袋 恭子 氏

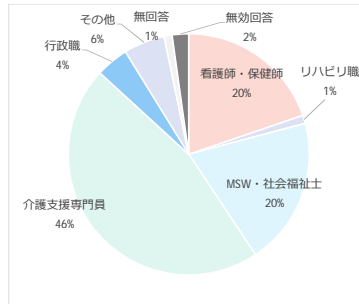
まとめ 富樫 八郎 氏（沖縄大学 教授）

参加者	159名
回答者数	91名
回答率	57.2%

I あなたのことについて教えてください

1. 職種を教えてください（実務職種1つ）

Q	職種	件数	割合
1	医師	0	0%
2	薬剤師	0	0%
3	看護師・保健師	18	20%
4	リハビリ職	1	1%
5	栄養士	0	0%
6	MSW・社会福祉士	18	20%
7	介護支援専門員	42	46%
8	行政職	4	4%
9	その他	5	5%
99	無回答	1	1%
999	無効回答	2	2%
	合計	91	100%

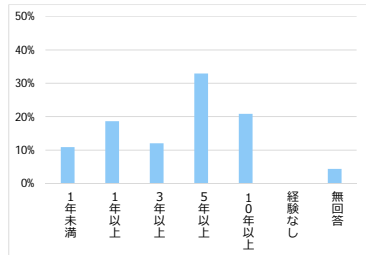


その他詳細

- ・ ケアマネ
- ・ 支援相談員（社福）
- ・ 事務
- ・ 生活相談員
- ・ 入退院支援部門事務（診療情報管理士）

2. 現任業務の経験年数について教えてください

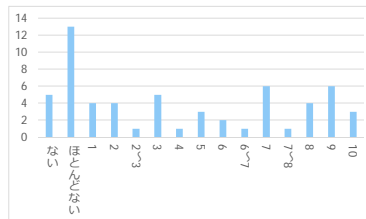
Q	経験年数	件数	割合
1	1年未満	10	11%
2	1年以上	17	19%
3	3年以上	11	12%
4	5年以上	30	33%
5	10年以上	19	21%
6	経験なし	0	0%
99	無回答	4	4%
	合計	91	100%



3. あなたの年間新規相談件数のうち、在宅移行の相談はありますか？

およそ何割くらいですか？

Q	在宅移行の相談	件数	割合
1	ある	49	54%
2	ほとんどない	13	14%
3	ない	5	5%
99	無回答	24	26%
	合計	91	100%

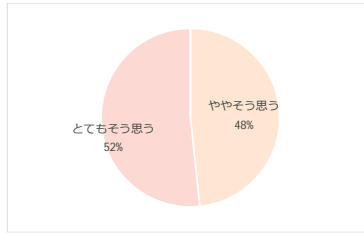


II 本日のプログラムについて伺います

1. 内容について、理解できましたか？

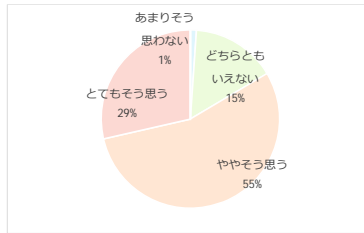
講演①：患者の〈どう生きるか〉を支える支援について

Q 1	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 どちらともいえない	0	0%
4 ややそう思う	44	48%
5 とてもそう思う	47	52%
99 無回答	0	0%
合計	91	100%



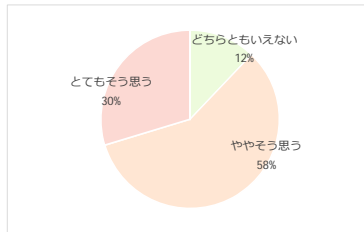
講演②：在宅医療・介護連携事業に係る制度説明と沖縄県における取組状況について

Q 2	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	1	1%
3 どちらともいえない	14	15%
4 ややそう思う	50	55%
5 とてもそう思う	26	29%
99 無回答	0	0%
合計	91	100%



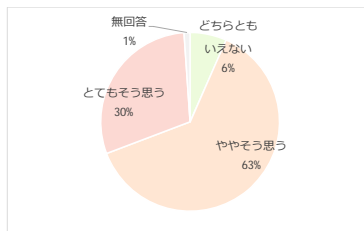
講演③入退院支援連携デザイン事業について

Q 3	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 どちらともいえない	11	12%
4 ややそう思う	53	58%
5 とてもそう思う	27	30%
99 無回答	0	0%
合計	91	100%



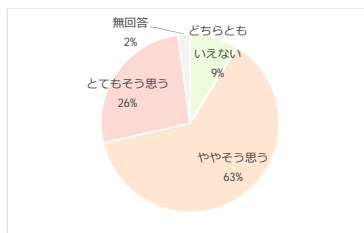
シンポジウム：地域包括ケアシステムにおける専門職の役割と課題について

Q 4	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 どちらともいえない	6	7%
4 ややそう思う	57	63%
5 とてもそう思う	27	30%
99 無回答	1	1%
合計	91	100%



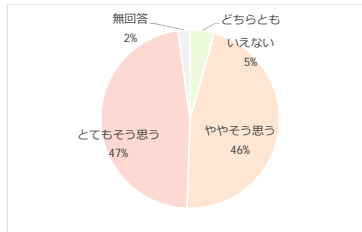
利用者の自立と尊厳を支える質の高い入退院支援連携業務の実践方法について

Q 5	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 どちらともいえない	8	9%
4 ややそう思う	57	63%
5 とてもそう思う	24	26%
99 無回答	2	2%
合計	91	100%



地域の特性に応じて、切れ目のない支援体制を構築するには、多職種研修は有効である

Q 6	件数	割合
1 全くそう思わない	0	0%
2 あまりそう思わない	0	0%
3 どちらともいえない	4	4%
4 ややそう思う	42	46%
5 とてもそう思う	43	47%
99 無回答	2	2%
合計	91	100%

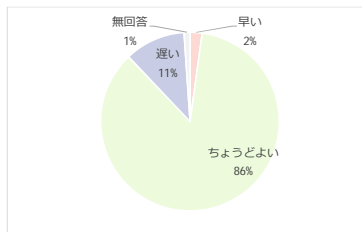


2. プログラムの内容で特に参考になったことについて、ご感想・ご意見があれば教えてください

- ・ ケアカフェの演習は大変良かった ・ 意見交換が充実していた
- ・ face to faceの関係が大事!
- ・ MSWとの連携強化にはフェイストゥフェイスとツールが重要と再認識した
- ・ OTの発表内容に興味あるも、スライドに表示された通りの紙ベースでの情報提供がほしかった(早口なのでせて紙ベースでくわしく!)
- ・ シンポジウムではそれぞれの職種や役割からのアプローチがうかがえてとても参考になりました。6名の発表の方々ありがとうございました。また、富樫先生の講演は大変おもしろかったです。対処能力が向上できるよう自己研鑽していきたいです
- ・ シンポジウムの時間にもっと余裕があると良かった
- ・ フェイスtoフェイス
- ・ 研修の内容を参考に新たに問題疑問が広がります。回を重ねることの大切さ・・・あと少人数になると意見が出やすいかと思えます
- ・ 相談業務について問題を抱えている方の立場を考え理解することを心掛ける必要があるとあらためて認識させて頂きました
- ・ 他職種の色々な意見を聞くことができ勉強になりました。話さないと解らない気づかない事が大きいとわかり、今後も顔を合わせて意見交換できる場作りをしていきたいと思えます
- ・ 日本における福祉事業の最初は民間も少しは在ったであろうが天皇皇后に依る教護院では?そしてスウェーデン・北欧に真似るのでは無く日本独自の儒教を基盤とした福祉を考えるべきであろう
- ・ 入るタイミング
- ・ 入院・退院時の連携、フェイスtoフェイス
- ・ 富樫先生のお話(対処能力の状態に合わせたアプローチ、悲嘆期のアプローチなど)とても参考になりました。また専門職としての心構え大切にしたいと思います
- ・ 文字の情報よりも、足を運んで直接連絡し合える関係づくり
- ・ 連携と支援の方法。どう生きるのかの理解が深まった

3. 研修日程、時間はいかがでしたか?

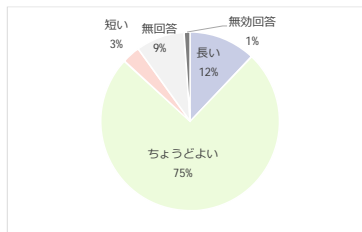
Q 1	日程	件数	割合
1	早い	2	2%
2	ちょうどよい	78	86%
3	遅い	10	11%
99	無回答	1	1%
	合計	91	100%



自由記載

- ・ 3月は研修が集中している。早めの時期にお願いしたい
- ・ 3月は研修が集中しているため
- ・ 3月研修が多いので2月だといいたいと思う
- ・ とても良い研修会だったので沢山の方に参加して欲しい。年度末はさけた方が良いかも・・・
- ・ 土日でも良いが連休はやめて欲しい。3月中旬以降は参加が難しい
- ・ 年度末の土曜日はさけてほしい

Q 2	時間	件数	割合
1	長い	11	12%
2	ちょうどよい	68	75%
3	短い	3	3%
99	無回答	8	9%
999	無効回答	1	1%
	合計	90	99%



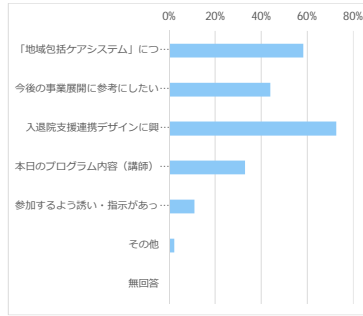
自由記載

- ・ シンポジストが多
- ・ ワークショップで専門職同士の連携に有効な話し合いができていた。もっと時間や話し合う機会があればもっと連携がスムーズになると思う
- ・ 開始時間が遅め。9:30-15:30or10:00-16:00がありがたい
- ・ 内容からすると半日でもよいのでは!平日でも可
- ・ 内容を思うとちょうど良いが、気持ちとしては長いとは感じた

4. 本研修に参加された動機について教えてください（複数選択可）

Q	動機	件数	割合
1	「地域包括ケアシステム」について学びたいから	53	58%
2	今後の事業展開に参考にしたいから	40	44%
3	入退院支援連携デザインに興味・関心があるから	66	73%
4	本日のプログラム内容（講師）にひかれたから	30	33%
5	参加するよう誘い・指示があったから	10	11%
6	その他	2	2%
99	無回答	0	0%
	合計	201	221%

*回答者に占める割合



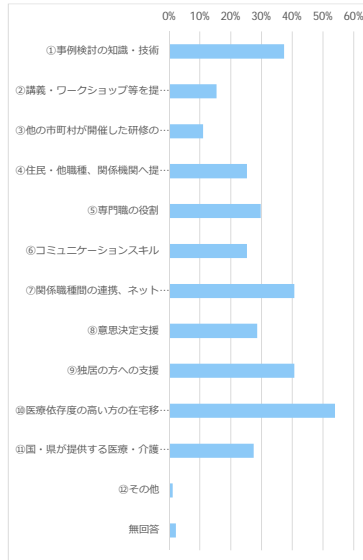
その他詳細

- ・ 実務に役立つと思ったから

Ⅲ 今後研修会で取り上げてほしいテーマに○をつけてください（複数選択可、一番受けたいテーマに◎）

Q	テーマ	件数	割合
1	①事例検討の知識・技術	34	37%
2	②講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	14	15%
3	③他の市町村が開催した研修の詳細	10	11%
4	④住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	23	25%
5	⑤専門職の役割	27	30%
6	⑥コミュニケーションスキル	23	25%
7	⑦関係職種間の連携、ネットワーク構築	37	41%
8	⑧意思決定支援	26	29%
9	⑨独居の方への支援	37	41%
10	⑩医療依存度の高い方の在宅移行支援	49	54%
11	⑪国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	25	27%
12	⑫その他	1	1%
13	無回答	2	2%
	合計	308	338%

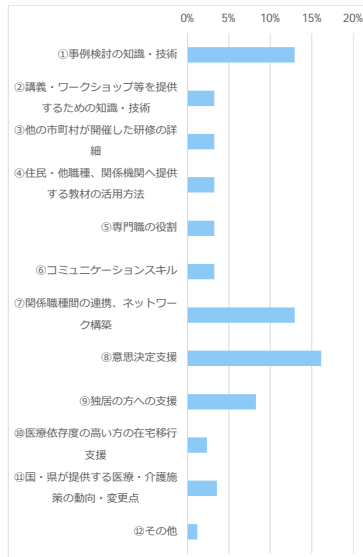
*回答者に占める割合



その他詳細

- ・ 離島と本島病院SWとの演習や事例検討

Q	一番受けたいテーマ	件数	割合
1	①事例検討の知識・技術	4	13%
2	②講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	1	3%
3	③他の市町村が開催した研修の詳細	1	3%
4	④住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	1	3%
5	⑤専門職の役割	1	3%
6	⑥コミュニケーションスキル	1	3%
7	⑦関係職種間の連携、ネットワーク構築	4	13%
8	⑧意思決定支援	5	16%
9	⑨独居の方への支援	7	8%
10	⑩医療依存度の高い方の在宅移行支援	2	2%
11	⑪国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	3	4%
12	⑫その他	1	1%
	合計	31	73%



IV その他、全体を通してのご感想・ご意見などありましたらご記入ください。
ご協力ありがとうございました。

- ・ 「生活って何？」というのが印象的でした。一層根本で本人そのものだと思うが、意識されナイ部分でもあるので視点を明確にしたいと思った
- ・ MSWの声がもっとほしい。交流したい（顔の見える関係づくり）
- ・ OT末吉様の資料は全部記載したものがほしかった（重要な箇所がスライド発表のみで、声も聞きとりにくかった。内容良さをうだったので残念）
- ・ いろいろな研修をしたいが、まずは専門職や病院・施設の役割、限界を知るとその後の研修が生きるのではないか
- ・ グループワークのテーマをしぼった方がもう少しアイデアを持ち帰れたと思う。スッキリしなかった。その他は勉強になりました
- ・ ケアカフェ初めて参加しましたが新鮮でした。お茶やお菓子をツールとしてまた音楽も流れてリラックスしてグループワークできました。ありがとうございました
- ・ これからも多職種での研修等あればいいです。とても良かったです。ありがとうございます
こんなに欠席の多い研修会は初めてです
- ・ シンポジスト同士での話し合いがあったら良かった
- ・ とてもいい研修でした。ありがとうございました
- ・ とても良い研修でした。ありがとうございました
- ・ レーダーポインターを使って、「今どの部分と話している」がスクリーンを通して伝われば、もっと良いなと思う
- ・ 一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会御中。一切準備等大変忙しい思いを為れたことと思います。ありがとうございました。御疲れ様でした
- ・ 講義の時は司会はすわった方がいいと思う
- ・ 他の事業所と意見交換でき勉強になりました
- ・ 多職種連携研修は多くの事を気づかされ、学ぶ事ができました。ありがとうございました
- ・ 誰もが安心して最期まで暮らしていける地域を作っていきたいと切に思いました